

令和6年 一之江第二小学校 3年国語評価基準 上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	評価規準
4月	よく聞いて、じこしょうかい 1時間(話・聞①) ○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。 (知・技(1)イ) ○話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ■自己紹介をする。 ☆楽しい学級づくり(特別活動)	2	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えている。(A(1)エ) 【態】積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
4月	どきん 1時間(読①) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩を楽しんで音読する。	1	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態】積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
4月	わたしのさいごうの一日 つづけてみよう 1時間(書①) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■日記を書く。	2	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
4月	登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう 春風をたどって 8時間(読⑧) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (知・技(1)ク) ■読んで想像したことを伝え合う。 ☆自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳)	8	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
4月	図書館たんていだん 1時間(知・技①) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■図書館の地図を作り、本を探す。 ☆図書館の配架を知る活動(図書館活用)	3	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ) 【態】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
4月	国語辞典を使おう 2時間(知・技②) ○辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ☆考えをまとめる活動などの漢字の確かめ(総合的な学習の時間など)	2	【知・技】辞書の使い方を理解し使っている。(2)イ) 【態】進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
4月	漢字の広場① 2時間(書②)	2	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で

令和6年 一之江第二小学校 3年国語評価基準 上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	評価規準
	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>		<p>使っている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
4月	<p>春のくらし</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■春を感じたことについて、文章に書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	2	<p>【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。</p>
5月	<p>知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう</p> <p>もっと知りたい、友だちのこと</p> <p>【コラム】きちんとつたえるために</p> <p>6時間(話・聞⑥)</p> <p>◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ)</p>	6	<p>【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的意識として、日常生活の中で</p>
5月	<p>漢字の音と訓</p> <p>2時間(知・技②)</p> <p>◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)</p>	2	<p>【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ)</p> <p>【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。</p>
5月	<p>漢字の広場②</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	2	<p>【知・技】</p> <p>・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>・接続する語句の役割について理解している。(1)カ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)</p> <p>【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
5月	<p>まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう</p> <p>文様</p> <p>こまを楽しむ</p> <p>【じょうほう】全体と中心</p> <p>8時間(知・技①、読⑦)</p> <p>◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p>	10	<p>【知・技】</p> <p>・段落の役割について理解している。(1)カ)</p> <p>・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア)</p>

令和6年 一之江第二小学校 3年国語評価基準 上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	評価規準
6月	相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう 気持ちよこめて、「来てください」 4時間(書④) ◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■行事を案内する手紙を書く。 ☆時と場に応じた適切な手紙を書く活動(社会、総合的な学習の時間)	4	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ) 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
6月	漢字の広場③ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書	2	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) 【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの
6月	登場人物のへんかに気をつけて読み、好きな場面について話し合おう まいごのかぎ 6時間(読⑥) ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■物語を読んで、好きな場面について話し合う。	9	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) 【態】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
6月	俳句を楽しもう 1時間(知・技①) ◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動(図書館活用)	1	【知・技】易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。
6月	こそあど言葉を使いこなそう 2時間(知・技②) ◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	2	【知・技】指示する語句の役割について理解している。(1)カ) 【態】積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
6月	【じょうほう】引用するとき 3時間(知・技①、書②) ◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。 ☆調べたことを文章にまとめる活動	3	【知・技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。

令和6年 一之江第二小学校 3年国語評価基準 上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	評価規準
7月	<p>つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう</p> <p>仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など 10時間（書⑩） ◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。（知・技(1)ウ） ○段落の役割について理解することができる。（知・技(1)カ） ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■調べたことを報告する文章を書く。 ☆調べたいことを決めて、調査を行い、報告する文章にまとめる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆調べる仕事についての本を探す活動（図書館活用） ☆見つけた工夫の撮影（ICT活用）</p>	10	<p>【知・技】 ・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。（1)ウ） ・段落の役割について理解している。（1)カ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。</p>
7月	<p>夏のくらし 2時間（書②） ◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■夏を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳） ☆夏を感じたものの撮影（ICT活</p>	2	<p>【知・技】語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。（1)オ） 【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。</p>
7月	<p>本は友だち 本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話 5時間（読⑤） ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。（思・判・表C(1)カ）</p>	6	<p>【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。（C(1)カ） 【態】進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことを</p>
9月	<p>わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる 2時間（読②） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合う。</p>	1 1	<p>【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（1)ク） 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ） 【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。</p>
9月	<p>こんな係がクラスにほしい 3時間（話・聞③） ◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)オ） ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。（思・判・表A(1)ア） ■グループで話し合い、考えを整理してまとめる。 ☆係活動における話し合い（特別活動）</p>	3	<p>【知・技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。（2)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（A(1)オ） 【態】進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し</p>
9月	<p>ポスターを読もう</p>	2	<p>【知・技】比較や分類のしかたを理</p>

令和6年 一之江第二小学校 3年国語評価基準 上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	評価規準
	2時間(読②) ◎文章を読んで理解したことに基 づいて、感想や考えをもつことが できる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し 使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる 語や文を見つけることができる。 (思・判・表C(1)ウ) ■ポスターを読み比べて、考 えたことを伝え合う。		解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的 を意識して、中心となる語や文 を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章 を読んで理解したことに基 づいて、感想や考えをも っている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解した ことに基づいて、進んで感 想や考えをもち、学習課題 に沿って考えたことを 伝え合おうとしている。
9月	書くことを考えるときは 2時間(書②) ◎比較や分類のしかたを理 解し使うことができる。(知・ 技(2)イ) ◎相手や目的を意識して、 経験したことや想像した ことなどから書くこと を選び、集めた材料を 比較したり分類したり して、伝えたいことを 明確にすることができる。 (思・判・表B(1)ア) ■夏休みの思い出を書 く。	2	【知・技】比較や分類の しかたを理解し使っ ている。(2)イ) 【思・判・表】「書く こと」において、相 手や目的を意識し て、経験したこと や想像したことな どから書くこと を選び、集めた 材料を比較し たり分類したり して、伝えたい ことを明確にし ている。(B(1)ア) 【態】粘り強く 集めた材料を 比較したり分 類したりして、 伝えたいこと を明確にし、 学習課題に沿 って夏休みの 思い出を書 こうとしてい る。
9月	漢字の組み立て 3時間(知・技③) ◎漢字が、へんやつくり などから構成されて いることについて理 解することができる。 (知・技(3)ウ)	3	【知・技】漢字が、へん やつくりなどか ら構成されてい ることについて 理解している。 (3)ウ) 【態】漢字がへん やつくりなどか ら構成されてい ることについて 粘り強く理 解し、学習課 題に沿って漢 字の構成を 捉えようとし ている。
9月	ローマ字 4時間(知・技④) ◎日常使われている 簡単な単語につ いて、ローマ字 で表記された ものを読み、 ローマ字で 書くことが できる。 (知・技(1)ウ) ☆ローマ字入力 (ICT活用)	4	【知・技】日常使 われている簡 単な単語につ いて、ローマ 字で表記され たものを読み 、ローマ字で 書いている。 (1)ウ) 【態】進んで ローマ字で 表記された ものを読み 、学習課題 に沿って ローマ字 で書いたり 入力したり しようとし ている。